

2015 年 7 月 25 日～ 28 日

17 回目となる今回は、ベトナム北部のホアビン省とベトナム中部のトゥア・ティエン・フエ省で、トイレや水環境の授業と実習を行いました。STT や BAJ のスタッフ、ベトナム現地法人の LIXIL Vietnam Corporation (以下 LIXIL Vietnam) から参加した 4 名の従業員が、子どもたち約 140 名と活動を通して交流を深めました。

行程概要

STT とともに

2015 年 7 月 25 日	ホアビン省タンラック郡フーヴィン村で環境教育
-----------------	------------------------

BAJ とともに

2015 年 7 月 27 日	トゥア・ティエン・フエ省フエ市トウイスワン小学校および、フーロック郡ヴィンミー村ラムモンクアン中学校で環境教育
2015 年 7 月 28 日	トゥア・ティエン・フエ省バックマー国立公園で環境教育



STT とともに

LIXIL が協働している STT は、ホアビン省タンラック郡で在来種の活用や生態系に配慮した農法の取り組み、生き物の調査や衛生環境の改善などを村の人々と話し合いながら行っています。また、村民からの要請に応じて、トイレ建設の支援も行っています。建設費用の半額を支援し、残りを各世帯が負担し、建設作業も自分たちで行うことで、村民の意識も高まり、主体的な活動として継続しています。

フーヴィン村での環境活動 (7 月 25 日)

フーヴィン村は、ハノイから車で約 3 時間ベトナム北部の山岳地帯にあり、米やトウモロコシなどを栽培する人口 4,100 人余りの農村です。この地域に昔から住む少数民族 (ムオン族) の人々は、昔ながらの伝統を守りながら生活しています。3 年ぶり 3 回目となる今回の訪問では、子どもたちや青年団 80 名を対象に、LIXIL Vietnam ハノイ本社従業員 2 名と STT スタッフ 3 名でトイレの授業とワークショップを行いました。オリジナルテキスト「トイレについて考えてみよう」を用いたトイレの授業では、LIXIL Vietnam の従業員が講師となり、質問をなげかけながら、トイレの歴史や手洗いの大切さ、トイレの特長や正しい使い方について説明し、対話形式で行いました。



会場となった公民館



授業を行う従業員



質問に答える青年団

その後、集落のトイレについて事前に調査した結果をまとめるワークショップを行いました。12の集落ごとにトイレの種類やその割合、問題点について写真やイラストを用いて発表しました。そして、どのようにすればすべての世帯がトイレの利点について理解し、野外排泄を減らせるのか話し合いました。子どもたちからは「どんな種類のトイレが環境衛生を良くし、病気を予防することにつながるのか理解できた。」「みんなと環境や集落の衛生状態について意見交換や交流ができた。これからもこういう交流の機会をたくさん設けて、一緒に学び意見交換がしたい。」といった声がありました。LIXILからは、フーヴィン村はトイレの数が3つしかなく、ベトナムの村の中では一番少ないため、是非学んだことを両親に伝えてみんなでこの問題を考えて欲しい、と伝えました。



ワークショップの様子



同じ集落の様々な年齢の子どもたちがグループに



写真を用いての報告

BAJとともに

LIXILが協働しているBAJは、年間を通し、トゥイスワン小学校の3、4年生の全クラスと、ラムモンクアン中学校の1年生と2年生（日本の小学6年生と中学校1年生）の希望児童を対象とした環境教育を行っています。座学だけではなく地域に出てフィールドワークを行ったり、道具を使って実験したりします。子どもたちは、学んだことを絵などで表現し、互いに見せ合うことで知識を広げ理解を深めています。今回の2日間の活動は、夏休みにもかかわらず希望した小学生15名と中学生40名が参加しました。講師はBAJスタッフ6名、LIXIL Vietnam ハノイ本社の従業員1名とダナン工場の従業員2名で行いました。

トウイスワン小学校および、ラムモンクアン中学校で環境活動（7月 27日）

この日は、午前中は小学校で従業員による自己紹介とホアビン省の暮らしの紹介を行いました。ホアビン省のムオン族の伝統や習慣、暮らしについて写真を用いながら説明したところ、これまで見たことのない高床式の住居や民族衣装の話にとっても興味深く耳を傾けていました。その後、子どもたちの半年間の活動の報告をしました。小学生は、地域に出るフィールドワークが中心です。近くの川の水質調査や、バイオガスダイジェスターの見学の報告などを行いました。その中でも有機野菜の畑の見学ツアーがとても印象深かったようです。どのように野菜を育てているか知ることで、食べ残しをしないことの大切さも学んでいました。

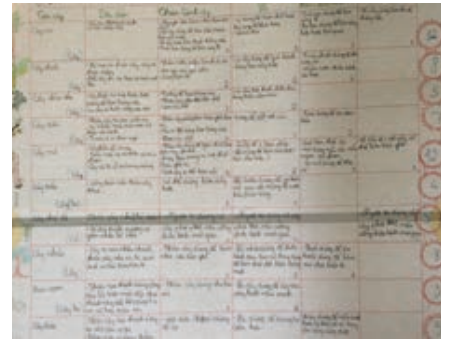
午後は中学校に赴き、同様に従業員から自己紹介、ホアビン省の暮らしの紹介をし、子どもたちからはこれまでの学習の成果を発表しました。中学生は小学生より一歩進んで、木々の Co2の吸収量と排出量に関する研究成果報告や学校のゴミ分類のためのゴミ箱の作成や緑のカーテンの設置などを行い、教室で学んだ内容を実習することによって理解を深めています。



授業の様子



日頃の学習の様子を報告



詳細に書かれた報告書

トゥア・ティエン・フエ省バックマー国立公園で環境教育（7月 28日）

この日は、昨日の授業に参加した子どもたちと一緒にバックマー国立公園で、環境活動を行いました。この国立公園はフエ市を流れるフォン川とチュオイ川の水源地がある場所です。日頃の環境活動で水質検査をするなかで出てきた中学生の「この川の水はどこからくるの？」という疑問がきっかけで、水質調査の最後の仕上げとしてここにやってきました。子どもたちは国立公園の指導員に、公園内の植物や生物について学んだほか、水質測定を行った川の水源で水質測定を行いました。雨の中の調査となりましたが、全く汚染されていないという結果を見て、子どもたちは川の水が下流に流れていく中で汚れていってしまうこと、また、きれいな水源を守っていくことの大切さを学びました。



国立公園の指導員から説明をうける



水質測定をする子どもたち



参加した子どもたち全員で記念撮影

LIXILは地域に根差した活動を行うことで、未来を担う子どもたちの成長に寄与するだけでなく、従業員自身も社会的な視点を学び、共に成長して参りました。ベトナム社会の様々な持続的な発展に貢献します。

環境教育活動参加者

ホアビン省	タンラック郡フーヴィン村子どもと青年団 80名		
トゥア・ティエン・フエ省	フエ市トゥイスワン小学校児童 15名		
	フーロック郡ヴィンミー村ラムモンクアン中学校生徒 40名		
STT	代表	伊能まゆ	
	ベトナム事務所	Nguyen Thi Thanh Loan (グエン ティ タイン ロアン)	
		Do Thi Hoa (ドー ティ ホア)	
BAJ	ベトナム事務所	片山恵美子	
		Ly Ba Khuong (リー バー クオン)	
		Nguyen Dinh Dong (グエン ディン ドン)	
		Nguyen Le Thanh Long (グエン レー タイン ロン)	
	東京事務所	新石 正治	
LIXIL	LIXIL Vietnam	ハノイ本社 総務部部長	Khuat Duy Son (グアット ズイ ソン)
		総務部	Le Thi Tuyet Mai (レ チ トゥエット マイ)
	LIXIL Vietnam	ダナン工場 技術部	Luong Bao Tuong Khuyen (ルオン バオ トゥオン クエン)
		生産部	Do Hong The (ドー ホン テ)